

# 資料編

## 資料1 平成13～15年度 「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の概要

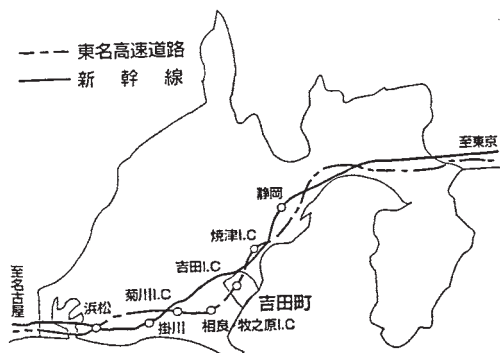
平成15年度中部地区学校図書館活用フォーラム

### 静岡県吉田町

平成15年10月23日

#### 1 町の概要

##### (1) 位置



##### (2) 人口 (H15年9月30日現在)

総人口 28,810人

男 13,863人 女 14,096人

外国人 851人

##### (3) 財政 (平成15年度財政力指数 1.02)

一般会計当初予算額 84億5千4百万円

うち教育費 790,239千円

学校図書館図書購入費 1,730千円

#### 2 協力機関

##### (1) 関係協力機関

吉田町立図書館

規模 2,955㎡ 蔵書 90,000点

職員 10人 (うち学校派遣司書3人)

##### (2) 研究実践協力校

学校名	住吉小学校	中央小学校	自彊小学校	吉田中学校
児童・生徒数	616	864	333	918
クラス数	18	29	14	26
* ( ) は特殊学級	(0)	(3)	(2)	(1)
教員数	26	41	20	49
司書教諭	1	1	1	1
蔵書冊数	11,218	16,419	10,600	13,737
朝読書	毎週月・木曜 8:00～8:15	毎週水曜 8:00～8:15	毎週金曜 8:00～8:15	毎週月火木金 8:00～8:15
読み聞かせ (ボランティア)	毎週水曜日 8:00～8:15 全学年実施 (20人)	毎週金曜日 8:00～8:15 全学年実施 (52人)	毎週木曜日 8:00～8:15 全学年実施 (19人)	毎週木曜日 8:00～8:15 全学年実施 (11人)

\* 司書教諭は、学校長が発令



## 5 中央小学校の事例

## (1) 実践例

## ・図書ラベルの統一化

町立図書館に準じ、3桁の分類番号とカタカナ1文字の請求記号とし、1段ラベルとした。町内小中学校は、すべて同様。

## ・郷土資料の登録(登録冊数:136)

町発行の図書・冊子・パンフレット、県統計事務所発行の冊子などを積極的に収集し、登録している。別置シールを貼り、郷土資料コーナーに置いている。

## ・1、2年生 調べ学習用図書の登録(登録冊数:806)

学年別に置いてあった学習用図書をまとめ、「なかよしホール」に別置した。登録することで、所蔵場所がはつきし、中高学年も幅広く活用できるようになった。

## ・読み聞かせボランティアへの個人貸出

「お話玉手箱」のボランティアに、ひとり5冊まで2週間の図書貸出を行っている。

## (2) 問題点とまとめ

学校間の図書貸借は、学校司書の常駐が開始された平成11年から行なわれている。ほとんどは、町立図書館からの貸出で済ますことができるため特に不都合は生じていない。

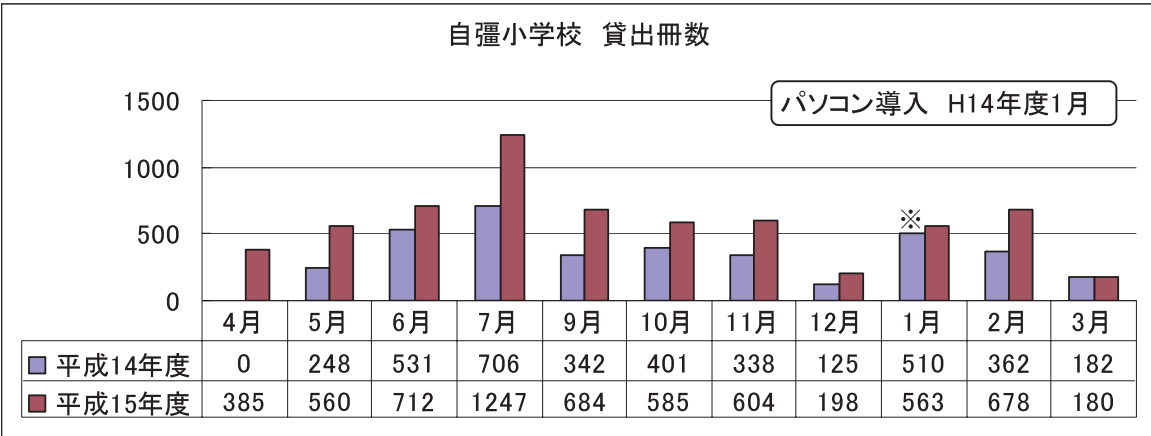
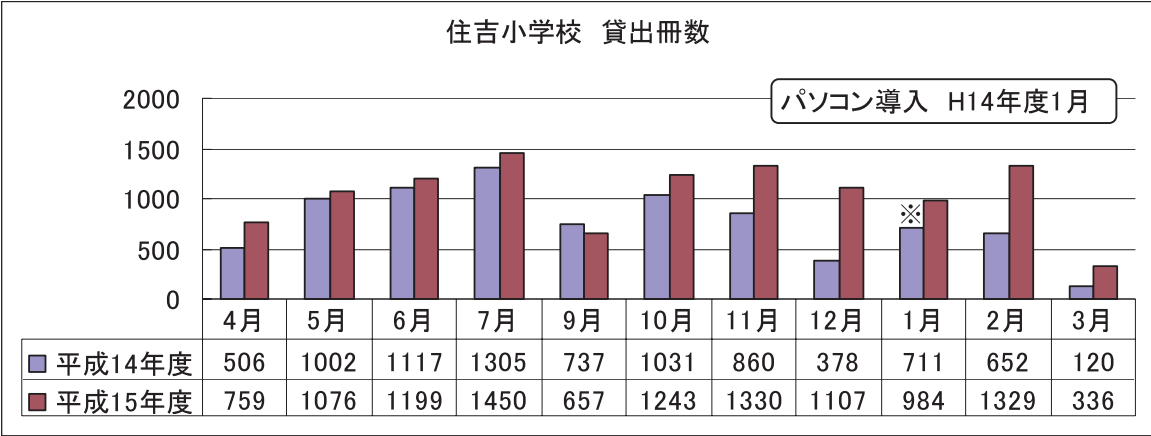
学校司書は現在週2回町立図書館から学校に派遣されているが、それ以外は図書館で司書として勤務しているため図書館の蔵書内容も把握できている。また、学校図書館の現状や要望などの理解や協力が得易い。

しかし一方では、パソコンが導入されても図書委員と学校司書がいる時しか貸出・返却ができないため、図書館としての機能が発揮されていないことや、パソコンが1台しかないために検索機能が使えないときがあるといった問題点もある。特に、調べ学習や総合的な学習の時間では教員1人では対処しきれなく、何がどこにあるかわかっていない教員が多い。

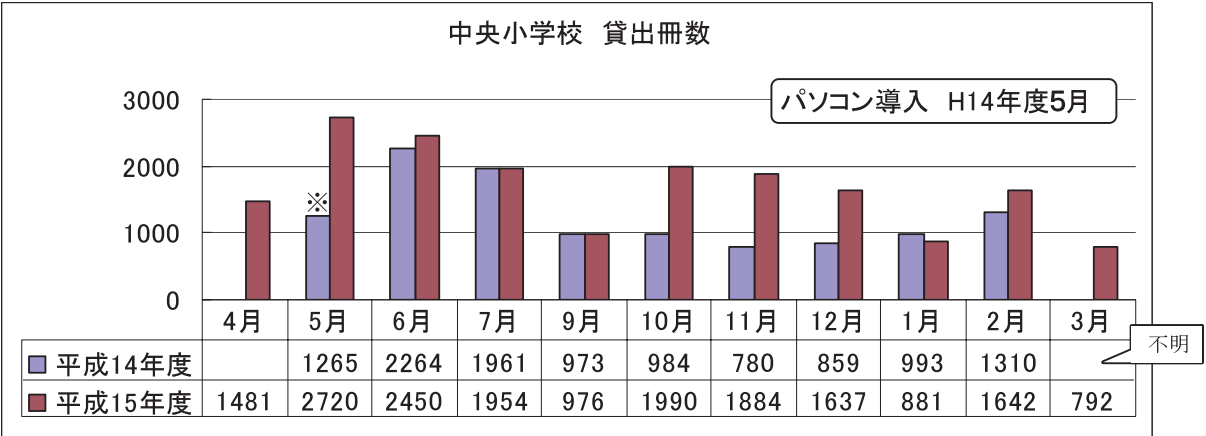
このようなことから、教員により多く図書室のことを理解し幅広く活用してもらうために、学校司書の常駐は今後の課題であるといえる。

## 6 今後の成果と課題

成 果	課 題
① 貸出・返却時間の短縮ができた	① 司書教諭・学校司書の役割の明確化
② 検索時間の短縮・効率化が図られた	② 吉田町が目指す学校図書館像の確立
③ 利用者数・貸出数が伸びた	③ 総合的な学習の時間の利用方法の検討
④ 開館時間が拡大された	④ 職員研修プログラムの開発
⑤ 図書室を使う授業が増えた	⑤ 予算(学校図書館整備費)の獲得
⑥ 図書委員の出席率が上がった	⑥ 校内の認知度を高め、理解を深める
⑦ 図書委員の表情が明るくなった	⑦ 転入職員への啓発・利用教育
⑧ 町立図書館との連携が進んだ	⑧ 図書館担当者の組織化
⑨ 学校司書が全校配置となった	⑨ 利用者開放端末の増設
(H15年11月～)	⑩ 小中学校の校内LAN整備



住吉小学校と自彊小学校では、パソコンによる貸出が始まってから貸出冊数が増加している。貸出カードに書き込む必要がなくなったことで、短い休み時間でも簡単に借りることができること、自彊小学校では1年生から学校図書館からの貸出ができるようになったことが大きいと思われる。



中央小学校のパソコンによる貸出は、平成14年5月からで町内で一番早く始まった。学校司書の勤務時間が平成14年度の8.5時間/週から平成15年度は16時間/週に増えたことも貸出の増加につながっていると思われる。